



廿日市市教委だより

～ 子どもたちの笑顔を守るのはわたしたち ～

令和4年
10月7日
第6号



2学期が始まり、子どもたちの元気な姿が学校に戻ってきて1ヵ月が経ちました。校内研修等で学校を訪問させていただく中で、先生方の授業改善に向けた取組や学習環境づくり、子どもの実際の姿を取り上げながらの協議等が多く見られ、感謝しております。研修で学んだことを即実践に生かしていくことは、とても大切なことです。

2学期は、学校行事等もたくさん予定されており慌ただししい時期でもあります。様々な場面で子どもたちの成長を感じられる時期でもあります。小さな成長を見逃さず、子どもたちと一緒に喜び合えるような2学期にしていきたいと思います。



未来を話そう！はつかいち子ども議会2022

令和4年8月20日に廿日市市議会本会議場において、子ども議会が開かれました。

この子ども議会には、市内11校（山陽女学園中等部を含む）の中学校から、代表の生徒が参加し、当日までに、市議会の協力を得ながら3回のプレ学習を実施し、「廿日市市のまちづくりと議会について」学んだり、グループ協議を通して自分の考えをまとめたりしました。

当日は、子ども議員として、子どもらしい目線から、廿日市市のまちづくりについて考えたことを意見したり、魅力的なまちにするための提案を行ったりしました。

どの生徒も、身近な生活から根拠となる事象や具体例を挙げ、堂々と意見を述べていました。

今回、この子ども議会で出された「文化を通して、市民と生徒との交流を図る」という意見が、早速、実際のまちづくりに生かされるそうで、具体的な実現に向けて動き出しています。

未来の廿日市市を担う子どもたちが、本気でふるさと廿日市のまちづくりについて考えることができる、大変貴重な機会となりました。



廿日市市子ども相談室

今回は廿日市市子ども相談室を紹介します。歴史は古く、昭和55年（1980年）の4月に不登校、不登校傾向の子どもたちの居場所、学習機会を保障することを目的に廿日市教室が設置されました。その後、佐伯教室も開設されています。廿日市教室は今年度5月に山崎本社みんなのあいプラザ3Fへ移転しました。今号では移転した廿日市教室について紹介します。



廿日市教室には8月末の時点で44名の児童生徒が在籍し、自分のペースで通室しながら、学習等に取り組んでいます。常駐スタッフは6名、(火・水・木曜日は5名)、加えて造形の授業を担当する講師1名(毎週水曜日)カウンセラー1名(不定期)で運営されています。主任指導員より、「移転に伴い、より良い環境で子どもたちの活動ができるようになった。今後も学校、市教育委員会と連携しながら、**子どもたちが安心して過ごせる居場所**にしていきたい。」とのコメントをいただきました。(集合写真撮影の時は、マスクを外しました。)

不登校に関する相談を受け付けています。

廿日市市子ども相談室 〒738-8512 廿日市市新宮一丁目 13-1 Tel.32-8061 Fax34-1211

キャリア教育の充実に向けて

【長所（自己PR）を聞ける・言える環境づくり】第2弾

★ポイント★

児童生徒の積極性を促す環境づくり！

前号で、教師側が「**周囲から否定されない**」「**周囲から認められる**」という安全な環境を確保してあげる必要性について掲載しました。

さらに児童生徒の積極性を発揮してもらうためには、**児童生徒の一人一人の「行動を促進／阻害するもの」を知っておく**ことも大切です。

（例）行動を促進するもの

「目標を書く」「教員やクラスメイトの応援」「応援してくれる家族や友人を思い出す」「成功をイメージする」等

（例）行動を阻害するもの

「面倒くさいという気持ち」「ゲームやマンガ」「失敗やクラスメイトからの批判や非難」等

こうしたことを児童生徒一人一人から聴取し、行動を**促進するものを身近に**置き、行動を**阻害するものを遠くに**やるように伝えましょう。

先生方自身もクラスの雰囲気から「行動を促進するもの」をさらに増やしてしていきましょう。

「学びの変革」の更なる推進

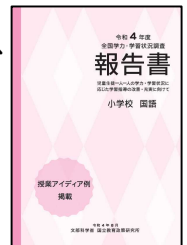
令和4年度全国学力・学習状況調査の結果が公表されています。廿日市市全体としては、小学校【国語・算数・理科】、中学校【国語・数学・理科】の全ての教科で、正答率が広島県平均を上回っています。正答率だけで一喜一憂するものではありませんが、各学校で、児童生徒の興味・関心のある課題を設定し主体的に学べるよう工夫したり、ICTを効果的に活用したりするなど、授業改善に取り組みされている成果だと言えます。

今後は、各学校ごとに、各設問ごとの正答率を分析し、弱かった部分を克服していくよう、取組を進めましょう。

廿日市市教育委員会では、授業改善のポイントをまとめた分析シートを作成しました。

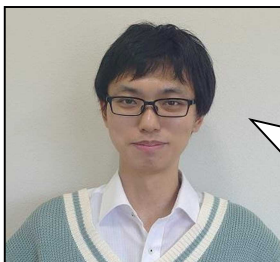
また、国立教育政策研究所により、全国学力・学習状況調査の調査結果を踏まえて作成された「授業アイデア例」は報告書に掲載されています。

日々の授業や校内研修会などの様々な場面で活用していきましょう。



アテンション ぶい~ず !!

今月号では今年度4月から廿日市市子ども相談室（廿日市教室）で青少年指導員として勤務されている廣中悠人先生を紹介します。



氏名：廣中悠人
趣味：水族館巡り
好きな言葉：一日一善

Q1 青少年指導員となったきっかけは？

自分自身も中学生、高校生の頃、特に理由はなく学校を休みがちな生徒でした。今でもなぜ学校に行かなかったのかはわかりません。そういった経験から不登校の子どもたちに関わる仕事がしたいと漠然と考えていたときに、前任の指導員の先生の話聞いて興味をもったことがきっかけです。

少し照れながらも真摯にインタビューに答えてくれた姿が印象的でした。そんな廣中先生の今後の活躍に注目です！

Q2 働く中でのやりがいや苦労は？

通室している子から「自分がいるから相談室に通室できた。」という言葉を受けてもらえたことは素直に嬉しかったですね。相談室に通うことを選んだ子どもたちの理由や背景、経緯は千差万別です。自分のように理由がわからない子もいます。そういった**一人ひとりに寄り添う気持ち**を大切にしています。相談室での学習や活動を通して、**前向きなエネルギーが貯まり、皆が進みたい道に進めるようしっかり支えていく**ことを目標にしています。

丁寧に
教えます！

